



TIA ニュース VOICE

THE

No.19

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

2002年 夏季に南昌市から来高する “学生のホームビジット受入れ希望者”を 募集します!

文化活動や日本語の授業等を通して日本の文化・風習に対する理解を深めることを目的として、南昌市で日本語を勉強している学生が日本語学校などの視察を計画しています。8月25日はホームビジットを予定していますので、学生のホームビジットを受け入れてくださる方はお申し込みください。



景德鎮の陶器工場

ホームビジット

2002年8月25日(日)全日



南昌友好会館での日本語の授業風景

- ★ワールドチャット2001
- ★スリランカ領事夫妻が
高松一高を訪問
- ★外国人のど自慢・お国自慢交流大会
- ★第9回 高松国際交流 青年のつどい
- ★国際交流おどり子連
- ★日本文化体験講座
- ★かがわ国際交流フェア2001
- ★日本語サロン
- ★さぬき国際交流 お正月会
- ★第11回 中学生訪中親善使節団が中国へ旅立つ!
- ★姉妹・友好都市から こんにちは!
- ★国際交流情報交換会 開催
- ★高松市内国際交流団体紹介 仏生山国際交流会
- ★INFORMATION



INDEX

ワールドチャット2001

財団法人高松市国際交流協会は、高松の国際化を推進するために様々な事業を行ってきています。今回は、高松市の姉妹・友好都市から来た人たちに、お国のことをお話してもらったり、世界の様々なダンスを見たり、一緒に踊って、異文化理解の楽しい一日になりました。



- セント・ピーターズバーグ市(アメリカ)
リチャード・ペイス…高招へい講師
- トゥール市(フランス)
ビイビイ…7年前に日本語の研修をJRで2か月したのを始め、今回で7回目の来日、高松市内の文化講座や個人でフランス語を教えている。
ゾオゾオ…市内のレストランで技術研修生として研修中。
- 南昌市(中国)
甘 裕紅…高松市役所での行政研修生として来高。南昌市では国際交流課に所属。



ゾオゾオさん、ビイビイさん

トゥール市の話…

トゥール市はフランスの中心であるパリの南西230キロくらいにあります。また、シェール川とフランスで一番大きくて有名なロワール河の合流地点の盆地にあります。トゥールの人口は13万7千人、周辺の都市部には30万近くの住民が住んでいます。

トゥール市は近代的で、経済的な発展を遂げている躍動的な街です。ワールドマーケットや金属化学工業の中心でもあります。またシャルルマーニュがトゥールに多くの学校を創立したことから、今でも市内にはトゥール大学や、ルネッサンス高等研究所、国立音楽学校などの学校が多くあります。その中に、トゥレーヌ・フランス語学院があり、世界中からたくさんの方がフランス語を学びにやってきます。その結果、学生たちの活気にあふれて、とてもにぎやかな町になりました。

トゥール市は歴史的に豊かな土地です。未来に目を向け続ける一方、その豊かな歴史も保持し続けています。15世紀、ルイ11世の時に一時的にフランス王国の首都となりました。フランスのルネサンスの期間中、トゥール市は多くの王たちに好まれ、ロワール河の流域にすばらしいお城が建てられました。そして、ヘンリー4世がフランスの王国の宮殿をパリに移すまで、ロワール河流域一帯を統治しました。画家、彫刻家、パティストリーの職人たちを多く輩出してきた街でもありました。ロワール河流域は古城めぐりが有名です。トゥール地方の古城の数は多すぎてはつきりわかりませんが300くらいでしょうか。たとえば、「アンボワーズ城」はトゥール市から30キロくらいの距離にあり、ロワール河を見下ろす丘のふもとに建っています。シャルル7世、ルイ11世、シャルル8世、フランソワ1世など国王たちが過ごしたことがあるお城です。「ユッセ城」は、シャルル・ペローの童話で有名な「眠れる森の美女」のモデルになったことで有名です。童話の名場面を再現した展示もあります。「シュノンソー城」は昔イギリスとの百年戦争のときにフランスに勝利をもたらしたジャンヌダルクがシャルル7世に謁見する舞台となりました。「シャンプルー城」はロワール河流域最大の城で、フランソワ1世が狩猟用の邸宅としてレオナルドダビンチの設計で建てたものです。世界遺産にも指定されています。おもしろい螺旋階段があって、2つの上り口から別々に上ったら、その2人は出会うことがないという複雑なつくりになっています。「ヴィランドリー城」はロワール河流域では最後に建てられたルネッサンス様式のお城で、お城そのものよりも幾何学模様デザインされた広大な庭園を見るために訪れる人が多いです。

トゥールの街の見所といえばサンガシア大聖堂があります。サンガシア大聖堂は13世紀から16世紀にかけて造られたゴシック建築の傑作です。サン・マルタンが起こしたさまざまな奇跡の様子を描いたステンドグラスが有名です。また、プリュムロー広場を中心に旧市街があって、トゥール大学を始めとする学校や研究機関がある学園都市として知られて、美術館など見所も多いです。プリュムロー広場の狭い路地に古い時計堂やロマネスク様式の教会などが多いです。プリュムロー広場に石造りの壁が方々に並び、カフェやレストランが賑わいます。さらにトゥール市はワインの生産で有名です。たとえばシノン、ブルゴーユ、ヴーブレなどは世界中に輸出されています。ヤギのチーズの産地としても有名です。毎年6月にロワール河流域のトゥレーヌ地方の小さな町でヤギのチーズのコンクールが行われます。朝から街は大賑わいです。フランス中からヤギのチーズがこの日集まり、審査されます。街中にフランス各地の特産のチーズやワインやパンなどの露店が並びます。

また、トゥール市の全ての街を活気付けるサンジョモノのストリートマーケットがあります。それはフラワーマーケット、食料品、アンティーク、蚤の市があります。トゥールはフランスで一番美しい街といわれています。



ボリビアの踊り



サルサ



太極拳



ペイスさん

セント・ピーターズバーグ市の話



今年はセ市と高松市の姉妹都市提携40周年になります。セ市はビーチがとても綺麗で、一年中暖かい気候の都市です。実は私はシカゴ出身でシカゴからセ市に来て何がびっくりしたかということ、温度が全然違うことです。シカゴでは気温がマイナスにまで下がり非常に寒く、雪も降り積もっているほどなのですが、12月のクリスマスシーズンでもセ市ではヤシの木にクリスマスのライトが飾られているので、ホントにびっくりしました。

クリスマスシーズンにも綺麗なところが沢山あって、ダウントウンに行きますと、とても豪華なホテルがあって、クリスマスツリーにはジンジャーブレッドマンなどたくさんのデコレーションがあり、非常にロマンチックです。セ市は港に面している町なので、ボートが沢山あり、そのボートにもいろんなデコレーションが施してあって、ボートが動くたびにパレードのようで華やかです。セ市はアメリカの南部だと思われるかもしれませんが、実際南部だと言われる所はジョージア州とかアラバマ州のことを指し、セ市のことではありません。どうしてかということ、セ市はニューヨークやボストンなど北部から移住してきた人が多く、クリスマスシーズンにはクリスマスらしさを求めて北部に帰って行きます。ではどんな人がセ市に住んでいるかというと、退職した人や高齢者や、大学生などが多く、現役社員の年代の人は少ないのです。

セ市は海に面していて、タンパベイなどいろいろな湾があるのですが、その中でも特に有名なゴルフベイには様々なビーチリゾート施設があり、10軒から20軒ほどの豪華なレストランもあります。カヌーもできます。また、いろいろなツアーが企画されていて、イルカやマナティ、サメを見に行くツアーなどがあります。サメを見に行くツアーではときどき事故も起きます。

海とは対照的にダウントウンはおしゃれな地域で、ダリ美術館をはじめ、子供用の博物館や歴史美術館、ファインアートの美術館があります。レストランも多くあって、ジュリアン・レストランや元マイアミ・ドルフィンズのダン・マリーノが開いたレストランもあります。また音楽を楽しむ室内型のレストランがあったり、ピアガーデン付のところもあったりで、買い物を楽しんだりするのもいい施設がたくさんあります。

またセ市では、様々なスポーツが楽しめます。キャンプ、サイクリング、アイスホッケー、バスケ、野球など。野球といえばヤンキースが春にセ市でキャンプを張っているの、有名人にも会うことができます。それから、98年にはメジャーリーグ「デビルレイズ」がセ市で生まれました。アイスホッケーでは「ライトニングス」、サッカーは「ミュートニーズ」といった様々なプロのチームがありスポーツも盛んな地域でもあります。

週末も楽しむ所が盛り沢山です。30分もドライブすればすばらしい所に行けます。タンパベイへは30分、ディズニーワールドへは90分、そして4時間あればマイアミまで行けます。私もよく行っていました。週末に本当にやることは沢山あって、非常に楽しい街です。

南昌市の話

南昌市は中国人民解放軍の誕生の地として有名な都市です。そのため、市内には八一起義記念館など、これを記念する施設があります。また、江西工芸美術館や江西省博物館、八大山人記念館など歴史的な貴重な文物を展示する施設も充実しています。中でも「滕王閣」は江南三大建築物の一つとして有名で、唐の時代に建てられました。その後回か壊れたり修復したりしましたが、今でも観光客が多く訪れる場所です。美しい名所旧跡も数多くあります。

中国では新年ではなく、旧正月を祝う習慣があります。2002年は2月12日です。「春節（旧正月）」は中国人にとってもっとも重要な祝祭日です。春節の前夜は「除夕（大晦日の夜）」といって、南昌市でも家族みんなが集まり、一家そろって食事をして寝ないで新年を迎えます。大晦日には家族で水餃子をつくります。餃子は昔のお金の形に似ているのでお金がたまりますようにと願いを込めるという意味もあるし、餃子の発音が「古い年と新しい年が交わる時」と同じ発音であるため、縁起を担ぐ意味もあります。最近では冷凍されたものがスーパーで沢山売っているの、それを買う人も増えてきています。日本のおせち料理と同じ道をたどっていますね。また、「春聯」を玄関に貼ります。「春聯」は対句の1種で、新年を祝い、豊年を祈り、人が健康でありますようにと「上聯」と「下聯」2枚書き分けて玄関の左右に分けて貼るのです。また、「福」の文字も貼ります。一般的にこの「福」字は逆さまに貼りつけられます。「倒」と「到」は発音が同じなので、「福が到来」というおめでたい意味になるのです。

「春節」の日の早朝、まず第一にやることは、先祖を拝むことです。近くの寺や廟へ初詣に行ったり、親戚知人の家へお年始回りに行ったり、風光明媚な所へ遊びに行ったりします。南昌市中心部にある中央公園では龍の舞・獅子舞などいろいろな催しも行われます。

中国のお正月のもう1つの風物詩は爆竹です。除夜の鐘が鳴り終わると一斉に鳴らします。去年の悪い運気を全て吹き飛ばして、今年は良いことが沢山ありますようにと新しい神様を迎え入れるのです。「新年快樂！（明けましておめでとう）」と口々に言い合いながら子供から大人まではしゃぐのです。爆竹は、危険で大量にゴミが出ることから大都市では既に禁止されていますが、規制されていない地域では絶えず爆竹が鳴らされていて大変賑やかです。

春節は家族と迎えるのが普通です。郷里を離れている人も春節の時期は必ず自分の家に帰り、家族と共に過ごします。春節が無事に迎えらるというのはとても幸せなことで、幸せを家族全員で分かち合うということなのです。



中国タイ族の踊り



甘 裕紅さん



スリランカ領事夫妻が高松一高を訪問

香川県主催の外交官招へい・地域プログラムで来県されたスリランカ領事夫妻を当協会が高松一高へご案内して、生徒たちと意見交換等交流を行ないました。

平成13年10月19日に、若いスリランカ総領事Mr. クマラゲ氏は、美しい緑のサリーを身につけた夫人と共に高松一高を訪問しました。黒川校長を表敬訪問して学校の概要等の説明を受けた後、書道の授業に入り、生徒と共に筆を使って「ありがとう」と書いたり、音楽堂で生徒のピアノ演奏を興味深く聴いたりしました。そして、会議室に移り、生徒たちを前に、昔セイロンと呼ばれていたスリランカの歴史、有名な紅茶や何百種もいる蝶の話をされ、また、生徒たちからは、カレー等食べ物から国の内乱まで多種多様の質問が出て、大変熱のごもった意見交換会になりました。

その後、屋島山上では、源平合戦の話に熱心に頷つきながら、美しい瀬戸内海の景色に見とれておられました。香川がすっかりお気に入られたご様子でした。

香川県の皆さまにぜひスリランカへ観光にお越しくださいとお国を宣伝されて、東京の総領事館へ帰られました。なお、スリランカのパンフレットは当協会に置いてありますので、興味のある方はどうぞご覧ください。



外国人のど自慢 お国自慢交流大会

外国人と市民の皆さまに親しまれた「第5回外国人のど自慢・お国自慢交流大会」は2001年7月8日(日)の午後に香川県社会福祉総合センターで、開催しました。

今回はアメリカ、タンザニア、中国、フィリピン、ベトナム、ポリビア、マレーシアの7か国から来ている37人の留学生や研修生たちが出場しました。流暢な日本語の歌や、それぞれの出身国独特の素晴らしい伝統楽器の演奏や民族踊りなどに、観客席から惜しむことなく拍手喝采を送られ、楽しい感動のひと時を共に有することができました。

また大会が終了後、出演者との懇親会では、更に交流を深めることができました。交流会設営等には仏生山交際交流会の皆さんにお手伝いいただきました。ありがとうございました。

今年も7月に予定しておりますので、ぜひ参加して楽しんでください。



第9回 高松国際交流青年のつどい

- とき:平成13年7月28日・29日
- ところ:大滝山県民憩いの森 キャンプ場

市民ボランティアが中心になって、8年ぶりに塩江でテントキャンプになった青年のつどい。自然の中での手作りイベントになりました。突然の雨などハプニングもありましたが、このサマーキャンプで生まれた国際的な友情がこれからも広がっていくことを期待しています。



- とき:平成13年8月14日
- ところ:中央公園・中央通り

今年も8月14日(火)に第36回さぬき高松まつりが盛大に中央通りで行われました。我々「国際交流おどり子連」も、それぞれゆかたやハッピーを身にまとい、元気よく参加しました。タイ、ドイツ、ベトナムなどの他、今年には高松市と姉妹都市であるアメリカのセント・ピーターズバーグ市から少年野球チームが来日していましたので、一緒に高松まつりに参加しました。はじめてゆかたやハッピーを着たり、日本のおまつりに参加したという外国の人がほとんどで、自分の浴衣姿やおまつりの様子などを写真に撮ったり、おまつりの雰囲気を楽しみました。





日本文化体験講座

讃岐提灯作り

在住外国人に日本の文化を体験してもらおうと、香川県に古くから伝わる讃岐提灯作り体験講座は9月2日に開催されました。教室には県指定伝統工芸士の三好正信さんが作った歌舞伎の提灯や音楽を演奏できるギターの提灯などを飾り、イギリス、フランス、ニュージーランド、メキシコ、ブラジル、スリランカ、カナダ、アルゼンチン、アメリカ、オーストラリア、中国からきた国際交流員や海外技術研修員等14名が参加しました。みんな讃岐提灯の話聞いてから、千年の歴史があり、四国霊場の遍路さんが考案したという「折り提灯」に挑みました。スリランカの伝統的な図案や海中の様子、中秋の月見風景を描くなど、思い思いの形と色とりどりのデザインの作品が出来あがり、みんな大満足！世界に一つしかない自作の提灯を手に、先生を囲んで記念撮影をしました。

メキシコ出身のブランカさんは、「初めはどんな形になるか想像できなかった。楽しいです。」と初作品に大満足の様子でした。



かがわ国際交流フェア2001

「おもいっきりボランティアプロジェクト」

●とき:平成13年10月21日(日)

●ところ:サンポート高松

「See & Sea」をテーマにした今年のフェア。場所もサンポート高松に移し、海と屋島を背景に開催されました。高松市のブースでは姉妹・友好都市の紹介、TIAではボランティアのみなさんと「おもいっきりボランティア」プロジェクトを実施。雨のなか、ゴミバスターズと着ぐるみで来場者へのサービスとアピールをしました。みなさん、おつかれさまでした。



日本語サロン

昨年5月にスタートしたボランティアの方達の運営による「日曜・日本語サロン」は在住外国人に口コミで知られて、大変人気になっております。サロンに参加した他の国の人と友だちになったり、日本のことをボランティアの方に教えてもらったりして、いつも楽しく和気あいあい！サロンは勉強の場、出会いの場、そして心の疲れも癒せるオアシスです！馬場先生、田中先生に感謝。



(参加者の声)

・マッカーシ ショー (NZ)
日本語 サロンは 楽しかった！
サロンの みなさんは 親切だ が、あなたの 日本語 を
練習 する ために 来たら いい と思いますよ！！



さぬき国際交流 お正月会

- とき:平成14年1月6日
- ところ:アイパル香川

恒例のお正月会。今年も、日本人も忘れてしまったような日本文化を体験してもらうために、展示コーナーを充実させ、大変好評でした。凧や羽子板、干支にちなんだ馬のわら細工などを飾りました。このお正月会は高松市内外の約10の国際交流団体と共催しており、外国人など約150人でにぎわいました。来年は1月12日に予定していますのでぜひ参加ください。



第11回 中学生訪中親善使節団が中国へ旅立つ!



21世紀を担う感受性豊かな中学生を友好都市南昌市をはじめ、中国各都市へ派遣する事業が今年も実施されます。公募した20名の内定者は今、訪中に向かって事前研修に励んでいる真っ最中です。公式訪問の際の注意事項や中国の社会事情、ホームステイ先で使う簡単な中国語の会話を勉強したり、南昌市の学校で披露する出し物や高松おどり等を練習します。6日間の訪問ですが、中学生達が中国の歴史や文化にふれ、たくさんの人たちとの交流を通して大きく成長して、帰ってくることを期待しています。



- 派遣期日
平成14年3月26日(火)~3月31日(日)
- 派遣先
中華人民共和国(南昌、北京、上海)

リチャード・ペイスさんは、リックのニックネームで皆さんに知られているチャーミングなアメリカ青年です。

高松の姉妹都市・セント・ピーターズバーグ市のエッカード大学を卒業して、昨年9月に、高松一高への招聘講師として高松市に来ました。彼にとって、日本語はとても難しくて、まだ十分に話す事が出来ませんが、生来の人懐っこさで、一高生にはもちろん誰からも好かれています。リックは、スポーツはなんでも好きですが、中でもウォータースポーツは得意です。また、一人になりたい時は、宮脇町の自宅ギターを弾いています。去る12月に催した当協会主催の「ワールドチャット」では、フロリダ州セント・ピーターズバーグ市の観光スポットや産業等について熱く語ってくれて、観光大使の役割も立派に果たしました。

彼自身は、北の方のシカゴ出身ですが、弟さんもフロリダ州のタンパにあるフロリダ大学で勉強する学生です。やはり2人共暖かい所が好きなんだろうね。リックは、日本料理も大好きで、お刺身以外はなんでも食べます。ところで、先日「一鶴」の若鳥を食べて、とても美味しかったそうです。

高松一高での仕事も楽しいですが、今年8月までの滞在中に日本の国内を旅行し、日本文化をもっと勉強したいと思っています。



高松一高英語講師
リチャード・ペイスさん

姉妹・友好都市から

南昌市政研修生
甘裕紅さん



一年間の高松市役所で
の研修を無事に終了することが
できました。この一年間は国際交流室を始め、
たくさんの部署でたくさんのごことを学びました。
1月14日の成人式にも参加し、振袖や着物を着
た若い成人たちを見て感動しました。

TIAの活動では、外国人のご自慢・お国自
慢大会や青年のつどい、高松まつり、ワールド
チャット、国際交流フェア、お正月会など沢山
の行事に参加して、大勢の友だちができました。

また、TIAかわら版の編集に関わり、大変
おもしろい経験ができたと思っています。日本
や高松のいろいろなことについて調べたり、多
くの編集ボランティアの人と一緒にかわら版を
作ることができました。南昌市の帰ってから、
かわら版の編集には関わっていきたくと思っ
ています。

最後に、一年間高松で生活してきた中で、私
はたくさんの人に親切にいただきました。
みなさんも南昌市のぜひ来てくださいな。今ま
でどうもありがとうございました。

国際交流情報交換会 開催

11月27日(火)に、平成13年度第2回目の国際交流団体情報交換会を開催しました。今回は9団体から10人に参加していただきました。地元での市民レベルの国際交流を続けてられている団体ばかりで、もっと外国人と親しくなろうと交流会を企画したり、相手の国のことをよく知ろうと様々な学習会を催したりと、大変積極的な活動が紹介されました。また、「国際理解をするにはお互いの国のことをよく調べたり、訪問するなどの相互交流をし、友情を深めることが重要である。」「若い人が外国へ行って、たくさん影響を受け、広い視野を持つことを期待している。」など活発な意見が出されました。

国際交流団体のこれからの行事予定は、当協会のホームページに掲載しておりますので、是非ごらんください。また、新しい情報がありましたら当協会までご連絡ください。



高松市内 国際交流団体 紹介

仏生山国際交流会

代表 十河 瞳

香川県農業試験場内(仏生山町)の建物の4階部分を改築して、1979年、香川県海外技術研修員の寮が開設されました。以来毎年アジア州、アフリカ州、南アメリカ州、太平洋州などの国々から研修員が日本の技術、知識を習得するために来県しています。今年は短期研修員を含め、9ヶ国17名が共同生活を送り高松での楽しい思い出を胸に2月上旬それぞれの国へ帰国しました。研修員との交流をきっかけに留学生等外国人の人たちに日本の文化や習慣、言葉などで困ることがないように手助けをと専業主婦や仕事を持つ人たちのつながりで、1985年に本会が発足しました。会員は現在75名・専門的、得意とすることで主に内なる交流や協力活動をしています。

中でも高松市国際交流協会などの支援により開催する秋のスポーツ大会は、市内の外国人はもとより県下の留学生や日本人たちが最も楽しみにしている1つです。今年も約250名が参加され身近な友たちとして心身のリフレッシュと共に心のケアに生かされています。このような活動を積み重ねる中で今日まで36ヵ国、360名ほどの研修員や留学生などとフレンドリーな関係が生まれ育っています。世界はますます近くなり、ここ高松でも多様な文化と暮らさなければなりません。そのために、在住の外国人の人々とパートナーとして互いに支えあえる、住みやすい環境づくりを目標にこれからも生活文化を通じて日本(高松)のよいところを分かってもらえるよう会員と共に努めていきます。



主な活動

- 曆にあわせて四季折々の伝統行事を織り込んだ交流
- 来県、帰国時にJR高松駅、空港の送迎
- 歓送迎会、スポーツ大会の開催
- 学校や公民館での交流支援
- ホームステイ、ホームビジットの受け入れ
- 専門家による伝統文化の教習
- 異文化の学習と体験
- 国際交流フェアなどの参加
- 私費留学生への生活支援

真心こめてこの街で ず〜っとあなたの応援団

窓口は午後4時まで営業!!

(本店営業部は午後6時)



サーブ



高松信用金庫



TIAの今後の主な事業予定

- 3月** 3/26(火) 第11回 中学生訪中親善使節団
～31(日) 派遣事業
- 5月** 5/19(日) ボランティア研修会
場所: 玉藻公園
国際交流団体情報交換会
- 7月** 外国人のど自慢・お国自慢大会
場所: 香川県社会福祉総合センター
- 8月** 8/14(水) 第37回 高松まつり
「国際交流おどり子連」参加
場所: 中央通り
日本語セミナー
日本文化体験講座
- 10月** 中旬 かがわ国際交流フェアの開催
- 11月** 中旬 国際交流団体情報交換会
- 1月** 1/12(日) お正月会
毎週日曜日 日本語サロン

詳しい日程が決まり次第、TIAのHPやパンフレット等でご案内しますので、ぜひご参加ください。

交流団体の事業予定

- 4月** 平成14年度 第I期シャンソン教室(全10回)
主催: 香川日仏協会
4/7(日) 中華料理教室
主催: 高松日中友好協会
- 7月** 香川県海外研修員等の歓迎会
主催: 仏生山国際交流会

私費外国人留学生

国民健康保険料助成について

平成13年度は高松市内に在住する私費学生すべてを対象に国民健康保険料を助成することとなり、大勢の学生に利用していただきました。なお、平成14年度もひきつづいて国民健康保険料の一部を助成していきませんが、若干の変更がありますので、当協会へお問い合わせください。

高松・セント・ピーターズバーグ
姉妹都市提携40周年記念

●日米親善少年野球大会開催

8月13日(月)に香川県営野球場(オリーブスタジアム)でセント・ピーターズバーグ市の少年野球チーム「Fossil Park」と高松の少年野球チーム「高松ドラゴンズ」が親善試合を行いました。親善試合の他、子供たちのホームステイやキャンプなどを通して友好交流を深めました。



●セ市市民親善使節団来高

8月11日から15日までの5日間、46人のセ市親善使節団が高松市を訪問し、市内施設見学や交流記念行事などに参加して親善交流を行いました。また日米親善少年野球大会にも応援にかけつけ、明るくて力強い声援を送っていました。

編集後記

市民参加型の事業を目指して...

栗林公園の桜開花は、平年より12日も早い3月18日。春は駆け足でやってきました。1年が過ぎるのは本当に早いもので、多種多様におよぶ当協会の平成13年度事業は、参加者の皆様に変え喜ばれました。特に、セント・ピーターズバーグ市から野球チームを含む46人の訪問時には、その内36人をホームステイで受け入れて、両国の市民レベルの温かい交流ができました。受入ボランティアの皆様から感謝申し上げます。平成14年度も、市民参加型の事業を推進してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

G.F